

今回の問題の構造

ローカルルールを解消することができない構造上の問題が生じているのではないか。

今回の地方公共団体の公金収納代行に関するローカルルールの構造

地方自治法において、公金収納委託の際の地方公共団体による検査等が定められている。

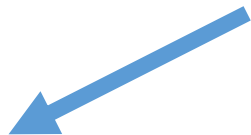
規制改革によるコンビニの公金収納代行解禁し、地方公共団体の自主性を尊重

当該検査の運用について、制度所管省庁による全国的な仕様統一が図られない。

改善要望に対し、制度所管省庁は制度運用詳細を決定する立場にないと主張する。

個々の地方公共団体が、収納代行会社との間で個別に仕様を決定する。

コンビニ各社が個々の地方公共団体と調整するのでは、時間がかかり、仕様のバラツキが生じて、オペレーションが改善できない。



ローカルルールが発生についての考察

ローカルルールを解消することができない構造上の問題は、一般化できるのではないか。
→ 全国標準の策定の必要性に関して、制度所管省庁の意識改革が必要ではないか。

国・所管省庁

地方分権 規制緩和

地方公共団体の自主性及び自立性を高めるというスローガン

地方公共団体が自ら判断する範囲を拡大することが良いことだとの認識が普及

全国統一的に標準化することが望ましいものまで、その範囲が拡大

規制緩和し、自主性・自立性を高めた。あとは地方公共団体の個別の問題で、自分たちが動く必要なし

地方公共団体

ローカルルールの発生

- ・慣れて別に困っていない
- ・変えて良いか分からない
- ・変更の手間がかかる

年月が経ち経緯が分からない

ローカルルールが解消されない/
問題が改善されない

事業者

広域で活動する際にローカルルールで、非効率率などの問題発生

多数の地方公共団体と統一に向け、個別に交渉するのは難しい